

令和2年3月発行

編集・発行

千葉県旭市イの 2953-1

旭市消防本部総務課

TEL 0479-63-0119 (代表)

0479-63-5355 (総務課直通)

FAX 0479-63-7477

火災問い合わせ

0479-60-4445



# しよ班はうだより

第15号



## 第15回 防火ポスター展 最優秀作品 (旭市長賞) 紹介

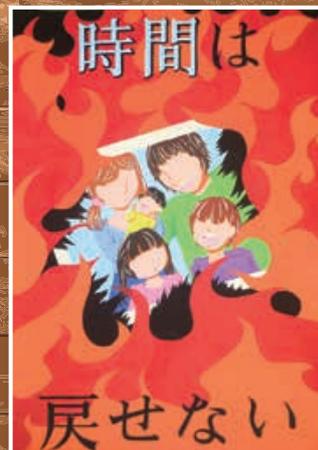
主催 旭市消防本部 共催 旭市危険物安全協会



旭市立中央小学校  
4年生 小川 心愛さん



旭市立矢指小学校  
5年生 林 風果さん



旭市立第二中学校  
1年生 吉永 ちひろさん



旭市立第一中学校  
2年生 石毛 一葉さん



旭市消防長  
川口 和昭

しょうぼうだより第15号の発行にあたり、ご挨拶申し上げます。  
市民の皆様をはじめ関係各位には、平素から本市消防行政の発展並びに火災予防につきまして格別のご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年、全国では「猛烈な台風」「観測史上最大の雨」など、記録的な暴風や豪雨により、各地に甚大な被害が発生いたしました。火災においても、世界文化遺産の焼失やアニメーション制作会社の放火事件が発生し、人々の安全安心や希望を脅かす災害が後を絶ちません。

旭市でも、昨年の令和元年房総半島台風、令和元年東日本台風、10月25日の大雨と立て続けに自然災害にみまわれ、住宅や産業施設の大規模損壊に加え、停電や断水が長期間にわたり続いたことで、市民の暮らしや産業に多くの被害がおよびました。

このように近年の災害が大規模・多発化している中で、住民の安全安心に対する関心と消防に寄せられるニーズはますます大きくなっております。先に述べました10月25日の大雨では、被災地の消防長から応援要請を受けて、茂原市へ救助隊が出動し活動にあたりました。こうした大規模災害発生時にも、迅速かつ確な対応が図れるよう、更なる消防防災体制及び広域応援、受援体制の充実強化に努めてまいります。

市民の皆様におかれましては、相次ぐ災害を経験していく中で、自助・共助の備えや人々の絆が深まり、地域防災力の向上が図られてきております。消防本部でも、災害に強い安全安心なまちづくりを目指して、消防車両や消防施設の強化に取り組んでおります。これからも市民の皆様が、安心して暮らせる社会を確保していくため、先人の方達が築いてきた防災力を継承し、消防団及び関係機関と一致団結しながら、災害対応力の強化、増大する救急需要への対応、そして防災、減災、安全対策の推進に、大きな使命感と責任感を持って取り組んで行く所存でおります。

今後も消防行政の運営に対するご支援、ご協力をお願い申し上げます。

## 消防関係表彰受章者の紹介

### 第33回 危険業務従事者叙勲

#### \*瑞宝双光章

佐藤 清和 さん

昭和53年に旭市外三町消防組合消防吏員に奉職されて以来、36年の永きににわたり消防士、救急救命士として尽力されました。また消防職と団員との協力体制の礎を築き上げるなど、旭市の消防体制の確立に貢献されました。

### \*消防庁長官表彰功労章

#### \*文化の日千葉県功労者表彰

鈴木 格 さん

昭和50年に旭市消防団員を拝命して以来、消防団活動に日々尽力されております。平成24年に旭市消防団長となり、強い指導力と責任感で、市民の生命や財産の保護、また消防団員の指導育成、資質向上に努め、消防団を牽引されております。

## 令和元年 火災・救急・救助統計

(平成31年1月～令和元年12月)

地域別火災発生件数

地域別 種別	計	旭 地域	海上 地域	飯岡 地域	干潟 地域	
出火件数	36	18	6	6	6	
火災 種別	建物	18	8	4	3	3
	林野	0	0	0	0	0
	車両	1	0	0	1	0
	船舶	0	0	0	0	0
	その他	17	10	2	2	3
死者数	0	0	0	0	0	
負傷者数	4	2	0	2	0	
損害額 (千円)	48,494	12,010	127	156	36,201	

※損害額については概数です。

地域別救急出動件数

地域別 種別	計	旭 地域	海上 地域	飯岡 地域	干潟 地域	管外
出動件数	3,037	1,850	409	432	308	38
火災	27	15	3	5	3	1
自然災害	4	3	1	0	0	0
水難事故	2	0	0	1	0	1
交通事故	318	194	48	32	41	3
労働災害	47	24	8	2	13	0
運動競技	17	10	2	3	2	0
一般負傷	386	230	57	64	32	3
加害	7	7	0	0	0	0
自損行為	21	13	2	4	1	1
急病	2,039	1,231	279	300	202	27
その他 (管外搬送含)	169	123	9	21	14	2

救助出動件数

区別 種別	件数	死者数	負傷者
計	51	6	73
交通事故	29	2	61
水難	2	1	1
建物等 による 事故	2	0	1
機械による 事故	3	0	1
その他	15	3	9

# 住宅用火災警報器

## 設置費用の助成を行っています!



旭市では、住宅火災における人命の安全を確保するため、住宅用火災警報器の購入に要した費用の一部を助成しています。

**※助成を受けるには、火災警報器を購入する前に交付申請が必要です!**

### 【助成対象者】

市内に住所を有し、次の**全てに該当する方のみ**の世帯。

- (1) 75歳以上であること。
- (2) 市税を滞納していないこと。
- (3) 他の制度により給付等を受けることができないこと。



●：助成対象箇所

注1 (3)は、介護がなければ1人で避難できない方がいるときなど。

注2 上記(1)～(3)に関わらず、同一住宅内に要件に該当しない方が居住している場合は、助成対象外となります。

申請方法や助成対象の詳細については旭市消防本部予防課までお問い合わせください。

旭市消防本部予防課 0479-63-5356

## 令和2年4月1日から

# 違反対象物の公表制度が開始されます!

### 【公表制度とは?】

重大な消防法令違反のある建物の名称、所在地、違反の内容を旭市のホームページで公表する制度です。

これにより、建物を利用しようとする人が、その建物の安全性について事前に確認することができるようになります。



### 1. 対象となる建物

飲食店、物品販売店舗、ホテル、社会福祉施設、病院など多くの人や避難が困難な人が利用する建物。



### 2. 対象となる重大な消防法令違反

消防法により設置が義務付けられている消防用設備等のうち、屋内消火栓設備、スプリンクラー設備又は自動火災報知設備が設置されていないもの。



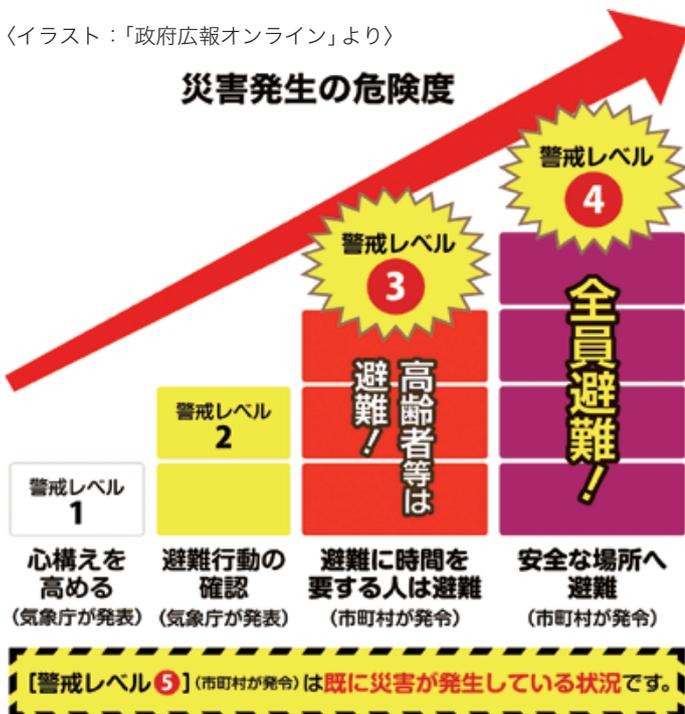
**※上記1及び2に該当する建物が公表されます。**

# 防災情報の伝え方は **5段階**

近年、地球温暖化の影響に伴う気候変動により勢力の強い台風が日本へ接近、上陸し大きな被害をもたらすことが増えています。昨年9月には台風15号が上陸し、千葉県を中心に猛威を振るいました。その後10月には台風19号と低気圧の影響による大雨と続き千葉県は甚大な被害を受けました。

旭市は比較的災害の少ない地域ですが、日ごろの備えや住んでいる周辺の危険箇所は把握しておくことが大事です。今だからこそもう一度、どのタイミングで、どの情報をもとに避難するかを確認しましょう。

〈イラスト：「政府広報オンライン」より〉



## 警戒レベル1

災害発生の危険性はまだ低い段階です、気象情報など留意し災害への心構えを高めて下さい。

## 警戒レベル2

注意報が発表され、災害発生に対する注意が高まってきた段階です。避難行動の確認を！

## 警戒レベル3

避難に時間がかかる高齢の方や障がいのある方避難を支援する方などは、安全な場所に避難しましょう。また、崖沿いや河川沿いにお住まいの方もこの段階で避難することが強く望まれます。

## 警戒レベル4

対象地域の方は全員速やかに避難してください。災害発生が極めて高い状況です。また避難指示は必ずしも発令されるものではなく地域の状況に応じて緊急的にまたは重ねて避難を促す場合に発令されるもので避難勧告が発令され次第避難して下さい。

## 警戒レベル5

警戒レベル5になってからでは安全な避難が難しい場合があります。地域の皆さんで声を掛け合って、また、空振りをおそれずにレベル3レベル4の段階で避難を終わらしましょう。

**ご存知ですか？  
逃げなきゃコール**

災害から大切な家族を守るために、活用していただきたいのが、「逃げなきゃコール」です。スマートフォン等の防災アプリに、離れて暮らす家族の地域を登録し避難情報が出たらいち早く家族に連絡を。家族からの「**逃げて！**」は避難行動を起こす大きなきっかけとなります。

## 『Net 119 緊急通報システム』って知ってる？

聴覚・音声・言語機能等に障害があり、音声による「119番通報」が困難な方が、スマートフォン(スマホ)等により、インターネット機能を利用して、音声によらない「119番通報」ができる新しい通報システムです。画面をタップしていき、簡単な操作で「火事」「救急」といった通報内容や通報場所を指令センターへ伝えることができます。利用になるためには、事前登録が必要となりますので、詳しくは下記お問い合わせ先までお願いします。

『Net 119 緊急通報システム』は令和2年2月3日から運用開始されています。

(お問い合わせ) 旭市消防本部 警防課通信班 0479-63-0119 (代表)

# 救急車の適正利用にご協力を!

近年、全国的に救急件数が増加しています。  
救急車は限りある資源です。  
本当に必要な、通報する前にもう一度考えてみましょう。



※出動件数が多くなると、救急車を呼んでも最寄りの救急車が出動できなくなる可能性があります。

結果、救急隊の到着が遅れて、**救えたはずの命**が救えなくなってしまうます。

## このような症状が出たら、迷わず救急車を要請してください!

- ・反応がない。
- ・呼吸をしていない。
- ・激しい頭痛、胸痛、腹痛。
- ・突然のしびれ。
- ・けいれんなど。



## もし救急要請するか迷ったら、下記に相談してみてください!

### 全国版救急受診アプリ

QRコード



Q助

### 千葉県救急安心電話相談

電話 #7009

または 03-6735-8305

平日・土曜日

18:00 ~ 23:00

日曜・祝祭日

9:00 ~ 23:00

### こども急病電話相談

電話 #8000

または 043-242-9939

毎日・夜間

19:00 ~ 翌6:00

## 救急隊に 強い味方が できました!



令和元年11月1日より、旭中央病院において**ドクターカー運用**が開始されました。

救急現場において、搬送よりも**医師による早期の処置**が必要と判断された際に、消防からの要請で、医師・看護師が医療資器材を携行しドクターカーが現場まで急行します。

救急隊は医師と連絡を取り、ドクターカーが到着するまで救命処置を行い、ドクターカーとドッキング後は、消防の救急車に医師・看護師を乗せ、医師による医療処置を行いながら救命センターまで搬送します。これは「ラピッドレスポンスカー方式」「**ラピッドカー**」と言われ、早いドクタータッチにより救命率の向上が期待できます。

また、ドクターカーは大規模災害の際に災害医療チーム(**DMAT**)としても出動します。

# 消防署の一日をのぞいてみよう

皆さん、消防署の仕事や日常をご存知ですか？「火事を消す」「救急車で病気の人やケガ人を運ぶ」ここまでは多くの方がご存知かと思います。

そこで、火災や救急出動以外の時間は何をしているのか、皆さんの知らない消防署の1日をご紹介します！



署員



本部員

8:30

旭市の消防職員は現在 121 名で、火災や救急などに出動する【署員】と事務が専門の【本部員】が働いています。左の写真は署員が勤務を交代する様子です。署員は、朝8時30分から次の日の朝8時30分までの24時間勤務です。続いて右の写真は本部員が仕事をする様子です。本部員は、朝8時30分から夕方5時15分まで勤務します。



素早い着装、カッコいい



発見



救出

では、午前中の部を見てみましょう。上の写真は、防火服と空気呼吸器を着装し、負傷者を救出する訓練です。部屋の奥で負傷者を発見！狭くて障害物があるため、救出するには強靭な体力と精神力が必要です。

下の写真は、ホース延長・放水訓練です。火災現場で1秒でも早く放水するための訓練です。



スタート



延長



放水開始!

昼食は、お弁当を持ってきたり出前を注文します。いつ出動命令がかかるかもしれませんので、食事中でも気をゆるめません！メニューは、ボリュームがある丼ぶりものが人気です。

※写真はかつ丼の大盛です!!



12:00

13:00

午後の部が始まりました。この日は、研修に行った隊員が学んだ知識や技術を仲間の隊員に伝えた後に実技訓練を実施しました。私達は、市民を災害から守るために必要な知識と技術の習得に日々励んでおります。

13:00

知識



技術



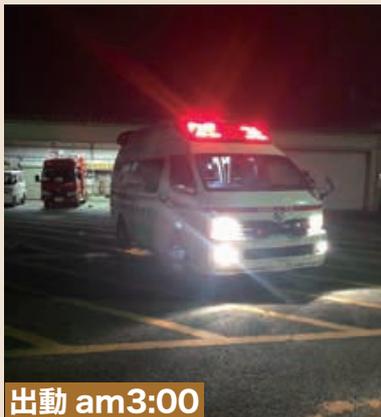
実技

17:15

今回ご紹介したもの以外にも、救急処置訓練や梯子車操縦訓練、応用・連携訓練など、たくさんの道具や機械を使用した訓練を実施しています。訓練だけではなく報告書の作成や火災の原因調査なども大切な仕事の一つです。



仮眠室



出動 am3:00



夜間受付

24:00

夕方以降は夕食をとったり、報告書を作成したり、自主訓練や筋力トレーニングなども実施しています。浴室もあるので汗を流すこともできます。

上の左の写真は仮眠室です。「消防署は寝ないの?」とよく質問されます。出動などが無ければ仮眠をとることはできますが、夜間の問い合わせや道案内の対応のため常に交代で起きています。そして翌朝8時30分、次の署員と交代となり1日が終了します。

休日には、消防車が大好きなお子さんが見学に来られます。職員に声を掛けていただければ対応いたしますので、是非、見学に来てください!

8:30





# 旭市消防本部 特別救助隊



## 【全国大会出場】

## ロープブリッジ渡過

千葉県大会で1位となり、千葉県代表として岡山県で開催された第48回全国消防救助技術大会に出場し優秀な成績をおさめました。

(令和元年8月25日開催)

令和元年6月4日に開催された千葉県大会



消防司令補  
大久保 一樹 隊員

セーラー渡過



### ロープブリッジ渡過とは？

水平に張った渡過ロープ20mを行きはセーラー渡過、帰りはモンキー渡過をする競技です。

モンキー渡過



## 【水難救助訓練】

消防本部では、部隊の連携強化や技術を高めることを目的とした水難救助訓練を毎年実施しています。

(令和元年7月実施)

潜水器具を着装して検索  
(市原市にある千葉県消防学校のプール)



冠水した陸地での活動



## 【10月25日の大雨により茂原市へ応援出動】

千葉県の消防には、被災した市町村を支援する「千葉県広域消防相互応援協定」が締結されています。10月25日の大雨で、茂原市内を流れる川が氾濫し大規模冠水が発生しました。これにより、被災地の消防長から応援要請を受け、救助隊が茂原市へ出動し救出活動を実施しました。

(令和元年10月25日～26日活動)

# わがまちの消防団員紹介

## 自分たちのまちは自分たちで守る!!



### 第5中隊 副中隊長 角崎 信夫



今年は、令和新時代の幕開けで輝かしい時代の始まりと思いきや、台風15号、19号の直撃で日本列島、そして旭市も甚大な被害を受け、大変な年の幕開けだと思っていました。その中で知事精勤章と栄誉ある賞を頂けたという事は、素晴らしい年のスタートをきれたと思いました。これも、自分がこの場に立つきっかけを作ってくれた後輩団員達のおかげだと思っています。感謝してもしきれないです。今後、自分の残された任期を精一杯、努めていく所存です。

消防を通じて、沢山の方達との出会いが自分の財産となっています。若い人達にも消防を通じて色々な経験をして頂きたいと思います。

### 第2中隊 副中隊長 石毛 仁一



私が旭市消防団に入団し11年、第二中隊副中隊長を拝命し4年が経過しようとしている中、本年の旭市消防出初式では千葉県知事より功労章を頂きました。このことは私一人で頂いたものではなく、消防団みなさんをはじめ消防本部のご支援、ご協力はもとより家族、職場の理解があつての受章だと感謝申し上げます。消防団活動を通して諸先輩方、同期、同僚と多くの人々と膝を交えて災害救援活動は無論、プライベートなことまでも話し合える仲間と、時間を過ごしていることは何事にも代えられないものがあります。

旭市消防団は、常備消防と協力しながらいつ発生するかわからない火災だけでなく、大規模化した自然災害からも旭市民の生命と財産を守るため、訓練を重ねています。市民皆様のご理解、ご協力をお願い致します。また、消防団員が減少している中、入団勧誘の際にはご協力頂けます様お願い致します。

### 第1中隊第2分団第1部 部長 石橋 春弥



私が消防団に入団して4年が経ちます。消防団の活動は、火災だけでなく、地震や自然災害において、多くの人命や財産・地域を守る為、多様な活動が必要になっています。災害はいつくるかわかりません。一人一人の協力があつてのものだと思っています。

今までの経験を活かし、今後も地域の安全・安心の為に、団員が一致団結し、消防活動に努めていきたいと思ひます。



### 第3中隊第2分団 分団長 伊藤 学

「自分達の地域は、自分達で守る」という郷土愛護の精神で私は16年間、地域の皆さまの身体、生命、財産を守るべく消防活動に力をいれてきました。私が16年間、消防生活を続けてこられたのも、日頃よりご指導ただいております優秀な先輩方と、私を支えてくれている後輩の皆さまのお陰だと思っています。

分団長という立場ではありますが、初心を忘れずに、今後も地域に貢献できますよう消防活動に取り組んでいきたいと思ひます。

また、自分もまだまだ未熟者ですので、今後ともご指導のほどよろしくお願ひ致します。



### 第4中隊第1分団 分団長 永井 孝佳

期待の小物ルーキーとして入団して早14年。消防団生活は、度重なる試練の連続だった。痛風、イボ痔、四十肩……。さまざまな苦難を乗り越えて郷土愛護の精神で頑張ってきた。

これからも地元部に戻って90歳くらいまでは消防団として邁進していこうと思ひます。

## 消防団恋活事業開催予定!!

消防団本部では、団員確保の一環として、消防団員と一般女性による恋活事業を実施しています!!

令和2年8月 開催予定!!

詳細につきましては、旭市消防本部総務課消防団班  
TEL 0479 (63) 5355 までお問い合わせください。

# 消防団大活躍

9月・10月と立て続けに千葉県に上陸し、本市にも大きな被害をもたらした令和元年房総半島台風・令和元年東日本台風並びに10月25日の大雨発生時に消防団は、地域防災の要として、道路を封鎖してしまった倒木の撤去や、切断されて危険な電線に対しての安全管理、大雨により冠水してしまった箇所での排水処理など様々な活動を実施しました。このように消防団員は常日頃『自分たちのまちは、自分たちで守る』という強い精神のもとに活動しています。



倒木によって封鎖されてしまった道路

## 令和元年度旭市消防操法大会

6月9日(日)旭文化の杜公園でポンプ車操法の部12チーム、小型ポンプ操法の部16チームが出場し、約1ヶ月に渡る訓練の成果を披露しました。

### ポンプ車操法の部

### 旭市大会団体表彰

- 優勝** 第1中隊第2分団第1部
- 準優勝** 第1中隊第3分団第1部

### 小型ポンプ操法の部

- 優勝** 第2中隊第5分団第3部
- 準優勝** 第2中隊第6分団第3部

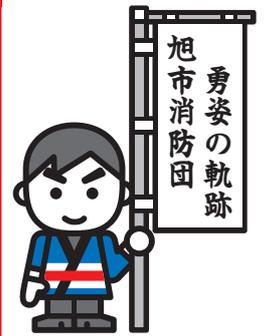
### ポンプ車操法の部

### 旭市大会個人表彰

- 最優秀指揮者** 第2中隊6-1 鈴木 和也
- 最優秀1番員** 第1中隊1-1 片山 迪彦
- 最優秀2番員** 第2中隊6-1 桃井 健斗
- 最優秀3番員** 第3中隊2-2 崎山 純
- 最優秀4番員** 第1中隊2-1 加瀬 彰宣

### 小型ポンプ操法の部

- 最優秀指揮者** 第2中隊5-3 長谷川 準也
- 最優秀1番員** 第2中隊5-3 増田 秀樹
- 最優秀2番員** 第2中隊6-3 米本 徹
- 最優秀3番員** 第2中隊6-3 高埜 啓司



## 第59回千葉県消防協会海匝支部消防操法大会

6月30日(日)匝瑳市役所北側駐車場で旭・銚子・匝瑳市の各代表チームが県大会出場を懸けて操法技術を競いました。第2中隊第5分団第3部が最優秀賞を獲得し、千葉県大会への出場が決まりました。

### ポンプ車操法の部

### 海匝大会団体表彰

- 優良賞** 第1中隊第2分団第1部

### 小型ポンプ操法の部

- 最優秀賞** 第2中隊第5分団第3部



### ポンプ車操法の部

### 海匝大会団体個人表彰

- 最優秀指揮者** 第1中隊3-1 林 賢治
- 最優秀4番員** 第1中隊3-1 阿部 裕行

### 小型ポンプ操法の部

- 最優秀指揮者** 第2中隊5-3 長谷川 準也
- 最優秀2番員** 第2中隊6-3 米本 徹
- 最優秀3番員** 第2中隊5-3 伊藤 典勝



## 第55回千葉県消防操法大会

7月27日(土)市原市にある千葉県消防学校において、千葉県消防操法大会が開催されました。海匝地区代表として、第2中隊第5分団第3部が小型ポンプ操法の部に出場し、第5位優良賞の成績を収めました。





旭市消防団長  
鈴木 格

令和2年の団報の発行にあたり一言ご挨拶を申し上げます。市民の皆様には、日頃より消防団活動に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げますと共に、消防団員皆さんの熱心な消防防災活動に対して感謝申し上げます。

昨年の災害状況をみますと、平成の時代は年々自然災害が増加傾向にあり、平成最悪の西日本豪雨、北海道地震などの災害が発生した30年のそれを上回る自然災害が、猛威をふるった令和元年となってしまいました。

令和元年房総半島台風、令和元年東日本台風、10月25日の大雨では、多くの住家被害や農作物等に甚大なる被害をもたらし、被災された方々には改めてお見舞い申し上げます。その台風の最中、警戒活動をし倒木などの撤去、散乱物の片付けなど、団員皆さんの尽力には心強さを感じた訳ですが、一方で適正に管理されていない樹木が今回の台風では、停電被害を長びかせる要因になったようです。更なる気候変動に伴い自然災害も激甚化してまいります。それぞれの備えが、大変重要なものとなってきております。

このような中、あらゆる災害からその被害を最小限に留めるためには、消防団活動が益々重要なものとなってきております。その切迫した災害現場において、団員相互の安全を確保しつつ活動するためには、操法訓練は重要な役割を果たします。昨年の県操法大会では、豊畑地区の5分団3部がみごと上位入賞を果たしており、その努力には敬意を表すところです。又、団員確保の対策の一環として行っている4回目の恋活イベントを8月に開催した所であり、現在4組がゴールインしております。

これからも市民の負託にこたえるべく、訓練を重ね消防本部と更に連携を密にし、安全安心な町作りに向け更に貢献すべく、団員一丸となり、より強固な消防体制作りに向け努力してまいりたいと思いますので、皆様の更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 今、あなたの力が必要です!!

消防団員は年齢も職業もさまざまな方々が集まり、地域の安全・安心を守るために活躍しています。

地元の方々とも良好な関係を築くことができ、火災等の出動時には手当ても支給されます。

あなたも地域防災の要である消防団員として、**旭市の安全と安心のために**活躍してみませんか？

### 入団資格は

- ・旭市内に在住又は在勤している方
- ・18歳以上の心身ともに健康な方

### [お問い合わせ]

旭市消防本部

総務課 消防団班

TEL 0479-63-5355



## 教えて、消防団!!

### Q1 消防団員とは？

**A** 消防団員は、会社員など本業を持っている傍らで、火災や災害時には消火活動等を行う、非常勤特別職の地方公務員です。

### Q2 どんな活動をしているの？

**A** 日頃より災害に備え、消防団車両や機材の点検、防火啓発活動などを行っています。火災や台風などの災害時には、消火活動・避難誘導・警戒活動を行います。

### Q3 旭市消防団の組織は？

**A** 旭市消防団は、1本部・5中隊・16分団・47部767名の団員で構成されております。

※平成31年4月1日現在

## 消防団サポート店を大募集 !!

この制度は、市内の事業所（飲食店など）が旭市の消防団員やその家族などに、割引など独自の優遇措置を実施することで、消防団員の確保を図り、地域の防災力の強化を推進することを目的としています。また、お店にとっても集客力アップやイメージアップなどの効果も期待できます。

消防団を応援したい！協力するよ！そんな温かいお店を募集しています。

ご協力いただける方は、QRコードより詳細を確認のうえ申請書を消防本部総務課消防団班までご提出ください。



### [名刺サイズ]

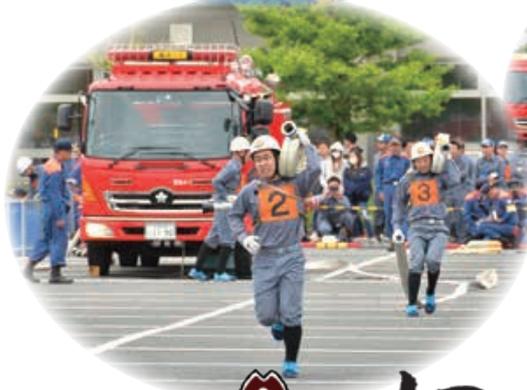


団員が持つ  
サポートカード

### [A4サイズ]



店舗へ飾る  
表示証



旭市消防団  
団報あさひ

